

今日の給食は、コロッケ（パックソース）、キャベツのサラダ、コーンポタージュ、コッペパン（いちごジャム）、牛乳でした。今日は「給食週間（1月24日～1月30日）」の最終日ということで、今から60年ほど前、昭和30年頃の給食を再現したそうです。給食日より「いただきます」によると、戦後外国から送られてきた小麦粉などの援助物資により学校給食は再開されたので、主食はパンだったそうです（なるほど！）。しかも、今のように柔らかいパンではなくパサパサしたものだったようです。また、牛乳の代わりに脱脂粉乳が出されていて、ちょっと飲みにくかったようですね。栄養不足を補う給食は当時もありがたいものだったと思います。現在の給食は栄養はもちろん、おいしくてメニューもバラエティーに富んでいて楽しいですよ。コッペパンと言えば、パンに好きな具などを挟んで（塗って）食べさせてくれるお店がいろいろありますよね。子供の頃、中耳炎で病院に行く前に、「帰りにコッペパン買ってあげるから」と言われたことを思い出しました。…あの時の処置は痛かったなということは覚えているのですが、帰りにコッペパンを食べたかどうかは、記憶のどこを探しても出てきません…。

